

本ガイドブックの作成方法と使い方

1 本ガイドブックの作成方法

本ガイドブックの第 2 章「堆肥化処理の目的と施設の安全管理」、第 3 章「堆肥化技術の種類と特徴」、第 4 章「畜産経営の実態に見合った堆肥化施設の選定」、第 5 章「評価書の作成」および参考資料については当機構の畜産環境技術研究所で原案を作成し、ガイドブック作成のための学識経験者からなる委員会で検討を加えたものです。

第 5 章「評価書（個表）」は、既設の施設についてその特徴、性能、処理コスト等、施設選定の参考となる情報をまとめたものです。堆肥化処理施設のメーカー等に対しダイレクトメールおよびインターネットで募集し、応募があった情報を基に、委員会において、評価のためのデータの有無、技術完成度、コスト等を吟味し、評価対象とするか否かを決定しました。評価対象とするものについて、提供のあった情報等を確認、整理するとともに、総合評価および評価チャートを作成して評価書としてとりまとめ、最終的には評価対象施設の情報提供企業に内容確認を行った上で完成させたものです。

2 本ガイドブックの使い方

第 2 章および第 3 章は、家畜排せつ物の堆肥化処理の必要性と施設の安全管理、各種堆肥化装置の種類と特徴について概説しました。これを読むことによって堆肥化処理の概要をつかむことができます。また、堆肥化処理法の種類と特徴が記載されていますので、畜種、飼養方法（畜舎構造）、規模等、各々の経営に適した処理方法と、各々の処理方法の特徴が理解できるようになっています。とくに、44 ページの一覧表で各々の処理方法の特徴が比較検討できるようになっています。

さらに、堆肥化処理施設の日常管理の留意点も記載していますので、参考にしてください。

第 4 章は経営に見合った堆肥化施設の選定について整理しています。専門家のアドバイスを受けながら施設選定の参考にしてください。

第 3 章は評価書の作成方法と見方、経済性の評価、第 4 章は応募施設の評価書個表を掲載しています。なお、巻末に、畜産環境保全に関する法律の概要と用語集、堆肥化処理の Q & A がありますので参考にしてください。